

[Docs](#) » [レイヤー](#) » オリジナルのKerasレイヤーを作成する

Kerasレイヤーを作成

シンプルで状態を持たない独自演算では、`layers.core.Lambda` を用いるべきでしょう。しかし、学習可能な重みを持つ独自演算は、自身でレイヤーを実装する必要があります。

以下にKeras 2.0でのレイヤーの枠組みを示します（古いバージョンを使っている場合は、更新してください）。実装する必要のあるメソッドは3つだけです。

- `build(input_shape)`: これは重みを定義するメソッドです。このメソッドは、`self.built = True` をセットしなければいけません、これは `super([Layer], self).build()` を呼び出してできます。
- `call(x)`: ここではレイヤーのロジックを記述します。オリジナルのレイヤーでマスキングをサポートしない限り、第1引数である入力テンソルが `call` に渡されることに気を付けてください。
- `compute_output_shape(input_shape)`: 作成したレイヤーの内部で入力のshapeを変更する場合には、ここでshape変換のロジックを指定する必要があります。こうすることでKerasが自動的にshapeを推定します。

```
from keras import backend as K
from keras.engine.topology import Layer
import numpy as np

class MyLayer(Layer):

    def __init__(self, output_dim, **kwargs):
        self.output_dim = output_dim
        super(MyLayer, self).__init__(**kwargs)

    def build(self, input_shape):
        # Create a trainable weight variable for this layer.
        self.kernel = self.add_weight(name='kernel',
                                       shape=(input_shape[1], self.output_dim),
                                       initializer='uniform',
                                       trainable=True)
        super(MyLayer, self).build(input_shape) # Be sure to call this somewhere!

    def call(self, x):
        return K.dot(x, self.kernel)

    def compute_output_shape(self, input_shape):
        return (input_shape[0], self.output_dim)
```

既存のKerasレイヤーは何を実装するにしても十分な例を提供しています。なので、躊躇せずソースコードを読んでください！